

兵庫 県
保険 協
医 会
西宮 支部
芦屋 ニュー
ス

No. 290
2010-11-25

発行 兵庫 県 保 険 医 協 会
西宮 市 石 切 町 十 八 一 八
連 絡 先 兵 庫 県 保 険 医 協 会
電 話 〇 七 八 (三 九 三) 一 八 〇 一
西宮・芦屋支部
大森内科医院内

The Classic Lovers Concert 4つの個性が ひとつのハーモニーに



4人で協演する出演者 (右から長谷川眞弓、今田香織、小玉晃、森口綾子)

10月27日、西宮プレラホールで、共催企画「愛のコンサートシリーズVol.2 The Classic Lovers Concert 君、そわが憩い〜Du bist die Ruh〜」を開催。ソプラノの長谷川眞弓さん、バリトンの小玉晃さん、ピアノの森口綾子さん、マリンの今田香織さんが協演し、医師・メデイカルスタッフら217人が参加した。
本企画は、子どもたちに小学校の授業で詩と音楽の手作りコンサートを贈るボランティア団体「SFCC (Songs for Children in Classroom) 実行委員会」との共催で開催。実行委員を務める長谷川眞弓さんは「阪神淡路大震災15年のつどい」で追悼の歌を歌うなど、西宮・芦屋支部の行事に協力いただいております、本企画は支部長の大森公一先生が実行委員長を務めた。
コンサートでは、モーツァルト、ブラームス、シューマンなどのほか、



4人の出演者に惜しめない拍手を送る参加者

「星に願いを」「とほくゆく雁」などの日本の曲も披露。ピアノ独奏曲、マリリン独奏曲や、4人同時の協演曲など多彩な音楽が披露され、参加者は出演者らに惜しめない拍手を送った。
本企画には西宮・芦屋地域の医師・スタッフをはじめ、協会の理事や、レセコンメーカー、製薬メーカーの社員、障害者施設の職員、地域の市民団体の方など、多方面からの参加があり、西宮・芦屋支部の活動を内外に知っていただく機会となった。
参加者からは「ソプラノ、バリトン、ピアノ、マリリンそれぞれの個性ある演奏を楽しむとともに、ひとつのハーモニーも同時に楽しんだ素敵なコンサートでした」「笑いあり感動ありの多彩な楽曲を聞かせていただき、とても癒されました」などの声が寄せられた。

会員忘年会のご案内

日時：12月29日(水) 18時～

会場：『木曾路』西宮店

※阪神西宮駅から北東へ徒歩5分
JR西宮駅から西へ徒歩10分

定員：30人 先着順・事前申込制

※会費は当日徴収いたします。



お問い合わせは 事務局 岡林・山田・伊藤まで

Tel:078-393-1817 / Fax:078-393-1802 / Mail:yamada-t@doc-net.or.jp

英語で診療 Medical English #28

【日時】12月10日(金) 14時～15時半

【会場】西宮医療会館1階会議室

【テーマ】医療英会話 基礎 2回シリーズ その1

受付の段階で大切な質問内容と質問の仕方、問診票、医療(健康)保険証の有無、自費診療、海外旅行保険の場合の対処、院内処方と院外処方の時の説明、丁寧な表現方法、及び受付または薬剤師と患者さんの対話などを取り上げます。医師と患者さんのユニークなスキットもご紹介します。

【講師】Com Language School

Mr. Robert Conroy

【司会】西宮市・ビューハイッククリニック

坂尾 福光 先生



健康と医療について語り合う会

症会
知演
認講

分がりやすい講演と
体験談に感銘

11月6日、西宮市男女共同参画センターウエーブにて、西宮市母親大会連絡会(市内の労組婦人部や婦人団体など10団体が加盟する組織)が「健康と医療について語り合う会」を開催。「認知症を知ろう」地域でどう支えるか」をテーマに土山雅人先生(西宮市・つちやま内科クリニック)が講師を担当し、市民ら30人が参加した。



認知症について
講演する土山先生



土山先生のお話に関心に入る参加者

土山先生は、認知症の定義と区別すべき病態、「もの忘れ」の認知症によるものと加齢によるものとの違い、徘徊は記憶

力や判断力の低下や居場所がわからなくなったことで生じた結果であること、認知症治療は薬物・非薬物療法や適切なケアが組み合わされてこそ中核症状が治療できること、認知症家族への支援として相談窓口や情報提供の必要などを分かりやすく解説した。

また認知症の人との接し方について、①自尊心を傷つけない、②相手の視野に入ってから声をかける、③本人のペースに合わせて話す、④話は簡潔にして一つずつすすめる、⑤理解を助ける道具や物を使って伝える、⑥心が動くような働きかけ、⑦馴染みのある場を整えて見やすくする、⑧危険を回避しながら見守るなどを、J A A D(日本アルツハイマー病研究会)のイラストを使って紹介された。さらに話題提供として、認知症の患者会である「さくら会」の会員二人から、夫の認知症を受容するまでの経緯や、社会サービスを活用しつつ家族介護にあたっての経験が述べられた。

主催者の鈴鹿さんは、「分かりやすい講演と体験談に感銘した。参加者のアンケートをもとに、他の病気のことも含めて今後も語り合う会が開催できるようにしたい」と語っている。

第8回胸部X・P読影会
いつでも遭遇しそうな症例
見逃さないために

10月29日、西宮渡辺心臓・血管センターで、第8回胸部X・P読影会を開催。原秀樹先生(尼崎市・はら内科クリニック)がアドバイザー、橋野盛彦先生(西宮市・橋野医院)が司会を務め、医師・放射線技師ら14人が参加した。参加した森博雄先生(西宮市・森医院)からの感想文を掲載する。

今回の読影会では、広川先生が次のような症例を提示されました。

1. 右胸水の症例を呈示。肝機能等も悪化なし。外来にて利尿剤を使用し治療された症例。

2. 心不全の症例を呈示。入院が必要と思われましたが患者さんの都合で入院されず低栄養も原因と考えられました。

3. 呼吸困難のある気管支炎で、外来にてタッピング等を行い喀痰排泄を行い改善を認めた症例。

また、森下先生から3症例、司会の橋野先生から3例の肺気腫症例を紹介されました。

原先生は肺癌が発見された症例の約1年前の写真を呈示され、ここに肺癌があると言うと少し変かなと思われるが、その写真だけを見ると肋骨の軟骨部分との重なりにも見える症例を提示されました。いつもいつでも遭遇しそうな症例でうっかりすると見逃してしまったり、悪化させてしまう様な症例や、家庭の事情などでこちらの思うように動いていない症例をいかに外来で対応するか等、いつも勉強させていただいています。

いつも巧妙な司会の橋野先生との確かな指摘をしていただく原先生に感謝したいと思います。

【西宮市・森医院 森 博雄】

世話人会だより

西宮・芦屋支部は10月22日に西宮医療会館で世話人会を開催。6人が参加した。

【予定・企画】

- ① 愛のコンサートシリーズ Vol.2 「The Classic Lovers Concert」(10・27)
- ② 第8回胸部X・P読影会(10・29)
- ③ 健康と医療について語り合う会(11・6)
- ④ 第25回在宅医療研究会(11・13)
- ⑤ 厚生労働省職員との懇談会(11・13)
- ⑥ 英語で診療#28(12・10)
- ⑦ 第26回在宅医療研究会(3・12)
- ⑧ 第25回漢方研究会
- ⑨ 新規開業医交流会
- ⑩ 西宮・芦屋支部設立30周年企画

※世話人会の日程は毎月第4金曜日です。支部についてのご意見や企画案などをお寄せください。



参加者の持ち寄ったカルテについて
アドバイスする原先生(中央)